

円山動物園リスザルドームのオープンについて

円山動物園では、新しい動物展示施設として園内のこども動物園にリスザルドームを建築中でしたが、その完成を記念して来る4月24日にオープニングセレモニーを行い、その後一般公開する運びとなりました。

この建物は、財団法人日本宝くじ協会の自治宝くじ普及宣伝事業として昨年10月から建築していたもので、リスザルやタマリンといった小型のサルの生態を、間近で観察できるように設計されています。

最大の特徴は、建物中央の直径4メートルの観覧ドームと、それにつながる観客通路がすべてガラスで構成されていることで、およそ40頭のリスザルやタマリンたちが眼前や頭上を自由に飛び回る姿を目の当たりにすることができます。

また、建物全体はリスザルたちの生息地である南米のアマゾンイメージして作られており、子供にも大人にも夢と感動を与え、十分楽しんでいただける施設となっています。

なお、リスザルドームの建築にあわせて、こども動物園の正面ゲートと、ヤギやメンヨウなどのあずまやも一新し、動物とのふれあいの場としてよりふさわしい施設に改修しました。

1 建物について

- (1) 構造：鉄筋コンクリート造，天井は天窓づくり。
- (2) 面積：120.5 m²
- (3) 最大の高さ：4.9m
- (4) 観客通路（ガラス張り）：幅2m，長さ18m
- (5) 中央観覧ドーム（ガラス張り）：直径4m，高さ2.7m
- (6) 総工費：約1億3千万円（こども動物園改修を含む。）

2 展示動物について

(1) 展示動物種及び頭数

リスザル 27 頭（オマキザル科）

ムネアカタマリン 10 頭（マーモセット科）

ワタボウシタマリン 4 頭（マーモセット科）

の計 41 頭を展示予定。

(2) 上記動物の特徴

3 種とも霊長目の中で最も小型のサルたちで、南米北部に生息する。特にマーモセット科に分類されるタマリンは、手のひらに乗るようなとてもかわいらしい動物である。なお、ワタボウシタマリンは希少種であり、ワシントン条約附属書 1 類に入っていて、学術研究や繁殖などの目的以外には輸入が禁止されている。

3 オープニングセレモニー

- (1) 日時 4月24日（土）午後2時～
- (2) 場所 こども動物園内リスザルドーム前
報道関係者を対象に、4月中旬に施設を公開する予定です。

（問い合わせ先：円山動物園管理課 担当 新海，宮本 621-1426）